

福岡県生物多様性戦略	福岡県生物多様性戦略第2期行動計画	次期戦略(案)
はじめに(知事あいさつ)	福岡県生物多様性戦略第2期行動計画の概要	はじめに(知事あいさつ)
知っていますか?福岡県の豊かな自然とその恵み	目次	目次
戦略の概念図		
目次		
第1章 戦略策定にあたって 1. 生きものに支えられる私たちの暮らし ※コラム1 2. 生物多様性とは ※コラム2 3. 策定の背景 (生物多様性の保全が求められる理由) (福岡県において生物多様性戦略を策定する理由) 4. 生物多様性をめぐる国内外の動向 ※コラム3 5. 戦略の基本的事項 (位置づけと役割) (計画期間) (対象区域) ※コラム4	序章 第2期行動計画の策定にあたって 1. 生きものに支えられる私たちの暮らし (生物多様性とは) (生きものの恵み) ※コラム21 2. 生物多様性をめぐる国内外の動向 (国際的な動向) (国内の動向) (福岡県の動向) ※コラム22 3. 戦略策定の背景 (生物多様性の保全が求められる理由) (福岡県において生物多様性戦略を策定した理由) (位置づけと役割) (計画期間) (対象区域) ※コラム23 4. 戦略で目指す社会と目標 (目指す社会(2050年に実現すること) (2050年の人々の暮らしや社会の様子)森林・農村・都市 など) 5. 第1期行動計画の概要と取組実績 (行動目標) (第1期行動計画の位置づけと行動計画策定の視点) (第1期行動計画の取組実績の概要) ※成果に関する記事	第1章 福岡県生物多様性戦略の策定にあたって 1. 生物多様性とは (1)生きものに支えられる私たちの暮らし (2)生物多様性の概念 (3)生物多様性の4つの危機 2. 生物多様性をめぐる最近の動向 (1)生物多様性条約と締約国会議(COP) (2)生物多様性の現状評価と愛知目標の成果 (3)持続可能な開発目標(SDGs)と生物多様性 (4)ポストコロナ社会とワンヘルスアプローチ (5)気候変動の進行と生物多様性の危機 (6)国内の動向 (7)県内の動向 3. 戦略の基本的事項 (位置づけと役割) (対象区域) (計画期間) 4. 第2期行動計画の実施状況
第2章 生物多様性の現状と課題 1. 福岡県の生物多様性の特徴とそれを支える背景 (1)生物の生息・生育環境の基盤 ①地形、②地質、③地史、④気候、 ⑤海域の環境、⑥植生 ※コラム5、6 (2)福岡県の生物多様性の特徴 ①京築流域圏の自然と生きもの、 ②北九州・筑豊、③福岡、④筑後 (3)人と自然の関わりの歴史 ※コラム7 2. 生物多様性の現状と課題 (1)県内の絶滅危惧種の状況 (生物種、植物群落) (2)生態系別の現状と課題 ①森林生態系、②農地生態系、③都市生態系 ④陸水生態系、⑤沿岸・海洋生態系 ⑥生態系をまたぐ現状と課題 (3)人づくり・仕組みづくりの現状と課題 ①人づくり・組織づくり、②仕組みづくり ③生物多様性に関する情報整備と科学的知見の蓄積	第2章 福岡県の生物多様性の特徴 1. 生物多様性の生息・生育環境の基礎 (1)地形、(2)地質、(3)地質、(4)気候 (5)海域の環境、(6)植生 2. 本県の生物多様性の特徴 (1)県全体の特徴 (2)4つの流域圏 ①京築流域圏の自然と生物 ②北九州・筑豊、③福岡、④筑後 3. 人と自然の関わりの歴史 4. 本県の自然が育んだ文化 (1)食文化、(2)木工、(3)伝統的漁法 (4)棚田による伝統的農業 (5)農業や人の営みを支える治水・利水技術 (6)まつり・伝統芸能、(7)信仰	第3章 福岡県の生物多様性と生態系の現状と課題 1. 生物多様性の現状と課題 (1)絶滅危惧種、(2)保護区と生態系ネットワーク (3)野生鳥獣、(4)外来種、(5)地球環境の変化 (6)人間活動の影響 2. 生態系別の現状と課題 (1)森林生態系、(2)農地生態系、(3)都市生態系 (4)陸水生態系、(5)沿岸・海洋生態系 3. 生物多様性を支える活動に関する現状と課題 (1)多様な主体による活動、(2)情報整備と科学的知見の蓄積
第3章 目指す社会と目標 1. 目指す社会(2050年に実現すること) 2. 目指す社会のイメージ (1)2050年の人々の暮らしや社会のようす (2)2050年の各地域のイメージ (森林、農村、都市、河川・湿原、沿岸・海岸) 3. 行動目標(10年間に達成すること)	第4章 目指す社会と目標 1. 目指す社会(2050年に実現すること) 2. 目指す社会のイメージ (1)2050年の人々の暮らしや社会の様子 (2)2050年の各地域のイメージ (森林、農村、都市、河川・湿原、沿岸・海洋) (地域循環共生圏) 3. 目指す社会の実現に向けた4つの行動指針と12の目標	
第4章 行動計画 (行動計画の策定の視点) 1. 私たちの暮らしのなかで生物多様性を育みます (1)県民への普及啓発 ※重点1 (2)教育・学習の機会を活用した啓発 (3)自然とのふれあいの促進 ※重点2、3 ※コラム11 (4)生物多様性に配慮したライフスタイルの浸透 ※重点4 2. 生物多様性の保全と再生を図ります (1)生態系ネットワークの形成 ※コラム12 (2)重要地域の保全 ①重要地域の保全に向けた新たな仕組みの構築 ※重点5 ②自然環境の保全を目的とする既存制度を活用した重要地域の保全 ③その他の制度を活用した重要地域の保全 ④重要地域の適切な管理と利用 ※コラム13、14	第4章の2 第2期行動計画 第2期行動計画の施策体系 第2期行動計画の策定の視点 1. 私たちの暮らしのなかで生物多様性を育みます (1)県民への普及啓発 ※重点1 (2)教育・学習の機会を活用した啓発 ※重点2 (3)自然とのふれあいの推進 (4)生物多様性に配慮したライフスタイルの浸透 (5)生物多様性を活用した魅力ある県土づくり・地域づくり ※重点3 ※コラム24 2. 生物多様性の保全と再生を図ります (1)生態系ネットワークの形成 (2)重要地域の保全 ①重要地域の保全に向けた新たな仕組みの構築 ※重点4 ②自然環境の保全を目的とする既存制度を活用した重要地域の保全 ※重点5 ③その他の制度を活用した重要地域の保全 ④重要地域の適切な管理と利用	第5章 行動計画 1. 基本的な考え方 2. 行動計画 (行動計画の施策体系、重点プロジェクト、行動計画策定の視点) 【行動指針1】私たちの暮らしのなかで生物多様性を育みます 1-1 自然や生きものの豊かさを体感し、生物多様性に対する理解を深めます ①生物多様性に関する情報発信 ②自然体験の充実 ③教育・学習の機会を活用した啓発 1-2 地産地消や持続可能な消費を通じて、生物多様性の維持・向上を図ります 1-3 里地里山里海の豊かな恵みや伝統的生活文化を受け継ぎ、魅力ある地域づくりに貢献します ①里地里山里海の適切な管理 ②生物多様性を活用した魅力ある地域づくり 【行動指針2】生物多様性の保全と再生を図ります 2-1 重要地域を核とした生態系の保全・再生を図るとともに、それらをつなぐ生態系ネットワークの形成を進めます ①生態系ネットワークの形成 ②重要地域の保全 2-2 絶滅危惧種の保護・回復に計画的に取り組み、絶滅を回避します 2-3 ワンヘルスを踏まえた生態系管理を推進し、野生鳥獣の増加や侵略的外来種による自然への負荷を低減させます

<p>福岡県生物多様性戦略</p> <p>(3)野生生物の適切な保護と管理 ①絶滅危惧種とその生息・生育環境の保全 ※重点6 ②鳥獣の保護管理 ③外来種の防除 ※重点7 ※コラム15</p> <p>(4)地球温暖化対策との連携 (5)環境影響評価制度の充実・強化 ※重点8 (6)生物多様性に配慮した公共工事の推進 ①公共工事全般に関する取組 ※重点9、10 ②山地・森林における取組 ③農村における取組 ④都市における取組 ⑤河川における取組 ⑥沿岸・海域における取組 ⑦山地から沿岸までの一貫した取組</p> <p>3. 生物多様性の持続可能な利用を図ります (1)生物多様性に配慮した農林水産業の推進 ①林業分野における取組 ②農業分野における取組 ③漁業分野における取組 (2)里地里山里海の適切な利用と管理 ①里地里山の適切な利用と管理 ②里海の適切な利用と管理 ※コラム16、17</p> <p>4. 生物多様性を支える基盤とネットワークを構築します (1)行政施策への浸透 ①県政における生物多様性の浸透 ※重点11 ②市町村の取組促進と支援 (2)多様な主体の参画促進 ①地域活動の促進 ②企業の取組促進と支援 (3)連携促進によるネットワーク化 ※重点12 (4)人材育成と活用 ※重点13 (5)調査研究の推進 ※コラム18、19、20</p>	<p>福岡県生物多様性戦略第2期行動計画</p> <p>(3)野生生物の適切な保護と管理 ①絶滅危惧種とその生息・生育環境の保全 ※重点6、7 ②鳥獣の保護管理 ※重点8 ③外来種の防除 ※重点9 ※コラム25</p> <p>(4)地球温暖化対策との連携 (5)環境影響評価制度の適切な運用 (6)生物多様性に配慮した公共工事の推進 ①公共工事全般に関する取組 ②山地・森林における取組 ③農村における取組 ④都市における取組 ⑤河川における取組 ⑥沿岸・海域における取組 ⑦山地から沿岸までの一貫した取組 ※コラム26、27、28、29</p> <p>3. 生物多様性の持続可能な利用を図ります (1)生物多様性に配慮した農林水産業の推進 ①林業分野における取組 ※重点10 ②農業分野における取組 ③漁業分野における取組 (2)里地里山里海の適切な利用と管理 ①里地里山の適切な利用と管理 ②里海の適切な利用と管理 ※コラム30、31、32</p> <p>4. 生物多様性を支える基盤とネットワークを構築します (1)行政施策への浸透 ①県政における生物多様性の浸透 ※重点11 ②市町村の取組促進と支援 (2)多様な主体の参画促進 ①地域活動の促進 ②企業の取組促進と支援 (3)連携促進によるネットワーク化 ※重点12 (4)人材育成と活用 (5)調査研究の推進 ※コラム33、34</p>	<p>次期戦略(案)</p> <p>①鳥獣の保護管理 ②侵略的外来種の拡大防止 2-4 開発事業における生物多様性への配慮を推進し、その影響を回避・低減します ①生物多様性に配慮した開発工事の推進 ②個別の開発工事における生物多様性への配慮</p> <p>【行動指針3】生物多様性の恵みの持続可能な利用を図ります 3-1 持続可能な農林水産業を通じて、森林、農地、沿岸域の生物多様性の維持・向上を図ります ①林業・森林分野における取組 ②農業・農地分野における取組 ③漁業・沿岸分野における取組 3-2 事業活動における生物多様性への配慮を浸透させ、その保全と持続可能な利用につなげます 3-3 自然環境や生態系を活用した気候変動対策やグリーンインフラ等の取組を推進します ①気候変動影響に関する取組の推進 ②持続可能な社会に向けたグリーンインフラ等の取組の推進</p> <p>【行動指針4】生物多様性を支える基盤とネットワークを構築します 4-1 生物多様性の保全・再生に向けた活動が持続的に展開できるよう、多様な主体の参加と協働を促進します ①行政施策への浸透 ②多様な主体の参加促進 ③人材育成と活躍の場づくり 4-2 生物多様性に関する情報を収集・整理・活用し、保全活動を支援するための仕組みづくりを進めます</p>
<p>第5章 推進体制と進行管理</p> <p>1. 推進体制 (1)多様な主体の連携による推進 (2)庁内及び関係組織による推進体制</p> <p>2. 進行管理 (1)戦略の推進 (2)戦略の進捗状況の公表 (3)戦略の点検・評価 (4)戦略の改訂</p> <p>3. 指標 (1)数値目標 (2)新たな指標とモニタリングの検討</p> <p>引用文献</p>	<p>第5章の2 推進体制と進行管理</p> <p>1. 推進体制 (1)多様な主体の連携による推進 (2)庁内及び関係組織による推進体制</p> <p>2. 進行管理 (1)戦略の推進 (2)戦略の進捗状況の公表 (3)戦略の点検・評価 (4)戦略の改訂</p> <p>3. 指標 (1)数値目標 (2)新たな指標とモニタリングの検討</p>	<p>第6章 推進体制と進行管理</p> <p>1. 推進体制 (1)多様な主体の連携による推進 (2)庁内及び関係組織による推進体制</p> <p>2. 進行管理 (1)戦略の推進 (2)戦略の進捗状況の公表 (3)戦略の点検・評価 (4)戦略の改訂</p> <p>3. 指標 (1)数値目標 (2)参考となるその他の指標</p>
<p>資料編</p> <p>1. 福岡県生物多様性戦略策定の経緯及び体制等 (1)戦略策定の経緯 (2)戦略専門委員会名簿 (3)戦略策定に係る庁内検討会議及び分科会の構成課等</p> <p>2. 県民の意向把握 (1)地域座談会 (2)パブリックコメント</p> <p>3. 戦略推進に際して参考となるその他の指標</p> <p>4. 用語解説</p>	<p>資料編2</p> <p>1. 戦略第2期行動計画とSDGs、愛知目標との関連 (1)SDGsと生物多様性 (2)第2期行動計画とSDGs、愛知目標との関連 (参考資料)SDGsの17のゴール 愛知目標の達成に向けた国別目標 (3)各行動目標とSDGsの関連図</p> <p>2. 戦略第2期行動計画策定の経緯及び体制等 (1)第2期行動計画策定の経緯 (2)専門委員会名簿 (3)関係課及び庁内推進会議構成課等</p> <p>3. 戦略第1期行動計画の実施状況と評価 (1)重点プロジェクトの実施状況 (2)第1期行動計画の実施状況と評価 (3)数値目標及び戦略の推進の際に参考となるその他の指標 ①数値目標、②その他の指標</p> <p>4. 県民の意向把握 (1)自然環境保全団体へのアンケート (2)県政モニターアンケート (3)意見募集(パブリックコメント)</p> <p>5. 戦略推進に際して参考となるその他の指標</p> <p>6. 用語解説(追補)</p> <p>7. 引用文献</p>	<p>資料編(※検討中)</p> <p>1. 戦略とSDGsとの関連 (1)行動計画とSDGsとの関連 (参考資料)SDGsのゴールとターゲット</p> <p>2. 愛知目標と達成状況</p> <p>3. 第2期行動計画の実施状況と評価 (1)重点プロジェクトの実施状況 (2)第2期行動計画の実施状況と評価 (3)数値目標及び参考となるその他の指標</p> <p>4. 県民の意向把握 (1)自然環境保全団体へのアンケート (2)県政モニターアンケート (3)意見募集(パブリックコメント)</p> <p>5. 戦略策定の経緯及び体制等 (1)戦略策定の経緯 (2)専門委員会名簿 (3)戦略策定に係る庁内検討会議構成課等</p> <p>6. 用語解説</p> <p>7. 引用文献</p>